

科目名		チーム医療論			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年		後期	必修・選択 必修

〔授業の目的・ねらい〕

対象者の障害を回復、維持、調整し、その人なりに充実した活動や社会生活を送ることが出来るように生活を再構築するためには、作業療法だけではなく対象者にかかわる他職種との協力があってこそ成し遂げられるものであることを理解する。

〔授業全体の内容の概要〕

講義とグループ学習

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

- ①対象者に関わる上でチームアプローチが必要不可欠であることを理解する。
- ②対象者に係わる他職種の種類を知り、またその業務内容を理解する。
- ③対象者に関わるチームの目標とOT目標との関係、評価および訓練について理解する。

回数	講義内容
1	リハビリテーションの歴史とチーム医療
2	チーム医療とは
3	チーム医療の重要性と効果(廃用症候群の予防と回復期でのチームアプローチ)
4	〃 (生活期リハビリテーション・疾病と障害の関係)
5	チーム医療の重要性とその役割(各職種別)
6	〃
7	〃
8	〃
9	チーム医療の重要性と効果 ・地域包括の考え方
10	グループ討議①
11	地域作業所との交流畑作業
12	ピアサポーター講演会
13	グループ討議②
14	まとめ
15	試験
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
資料配布		
(参考書)PT・OT・ST・Nsを目指す人のためのリハビリテーション総論		診断と治療社

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

小テスト・定期試験を合わせて評価を行う。